

令和2年度

幼稚園評価報告書

Seinan Kindergarten
50th Anniversary



令和3年3月3日



港区立青南幼稚園



令和3年3月3日
港区立青南幼稚園長 新山裕之

令和2年度 幼稚園評価報告概要

園長の経営計画を受け、教育課程を編成し、コロナ禍であっても全教職員が一丸となって実践を積み重ねてきました。今年度の取り組みについては、教職員も評議員、保護者と同様のアンケートを実施し、それも参考にしながら教員による自己評価を行いました。評議員会においていただいた意見やアンケート結果を含め、総合的に分析・考察し、改善の必要な点について明らかにし、次年度の教育課程の編成に生かしていきます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、長期欠席も多く、保護者アンケートの回収率は約80%と、例年に比べると低くなりました。しかし、全ての項目でA、Bを合わせると90%以上、A評価が90%を越えるものが21項目中8項目と極めて高い評価をいただきました。評議員会での意見や評議員からのアンケートでも同様の評価をいただきました。園内では、教職員も同様のアンケートを実施し、一年間の教育活動全般と行事毎の協議も実施しました。それらの評価をまとめるとともに次年度の方向性を示します。

<幼稚園運営について>

- ・保護者からは、8項目中3項目でAが90%を超える高評価を得ています。
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に大きな労力を費やした一年だったものの、安全・安心を第一にしつつ、常に前向きに対応してきました。各担任からのドキュメンテーションや学級だよりなどが功を奏し、園としての経営方針や幼児期に大事にしたいことなどへの理解が広がり、教師や幼稚園への信頼感が一層深まったと言え、大変感謝しています。
- ・特に、長年の課題だったホームページの活用は、コロナ禍を逆手に取る形で、園内の自然と子どもたちの様子を絡めて伝えるブログと小さなコラムなどの発信、ひよこ組の案内、園だよりなどのプリント類の保護者閲覧ページへのアップなど、有効に活用することができました。
- ・自然を生かす取り組みや発信、様々な工夫と努力によって保育実践を進めていることに対して保護者や評議員から、感謝と労いの言葉が多く寄せられ、多くの保護者が安心して幼稚園に預けてくれている状況であり、大変有り難く、深く感謝しています。
- ・PTA活動は、年中組と年少組は学級代表のみで、主に年長組のPTA役員が中心になっての運営でした。実施できない行事も多かったのですが、いざというときに、PTAのつながりが園運営を支えてくれることが多くありました。特に、生活発表会に関しては、PTA役員の柔軟な対応と保育者の皆さんの協力により、無事に開催できて、改めて幼稚園とPTAの連携の重要性を認識するとともに深く感謝しています。本当にありがとうございました。
- ・ひよこ組は、人数制限やボランティアの募集などで課題もありましたが、毎回申込の電話は1時間ほどで予約がいっぱいになる状況で、9月から12月まで計8回開催することができました。また、ホームページからの発信をよく見ていてくれることが分かりました。
- ・新年度年長組の役員候補や委員も内定し、コロナ禍でも可能な内容や方法を幼稚園とPTAとで一緒に考えていきます。保護者と幼稚園とが連携して、子どもを真ん中にした園生活やPTA活動の充実を図っていきたいと思います。
- ・小中学校や地域の多くの皆さんとの直接の交流活動は制限されたものの、途切れることなく連携を取っており、地域の幼稚園として、子どもたちが温かく見守られていることを保護者の皆さんにも理解してもらっています。引き続きの連携と発信が重要であると考えています。
- ・保幼小中の直接の交流活動は大幅に制限されましたが、共通テーマでの研修や資料の相互配布映像視聴での交流なども実現し、少しずつできることを増やしています。

- ・生活発表会後には、青南小学校において、教員が保幼小合同研修会を実施しました。地域の幼児教育の質の向上と幼小の連携・接続のために、私たち公立幼稚園がリーダーシップをとって小学校や保育園とのパイプ役などの役割を果たしています。
- ・保幼小合同研修会の際に、研修資料として共有した1年生の算数の授業の様子の動画DVDは生活発表会後に年長児も視聴しました。それを見て気付いたことや質問を小学校に届けたことをきっかけに、1年生から返事の手紙をもらったり、学校内の様子を1年生が探検して説明してくれた動画のDVDを届けてもらったりする新しい形での交流が始まり、小学校入学への不安を和らげ、期待を高めることができています。
- ・例年、幼小の連携などに関する項目は他に比べて評価が低く、今年度は新しい形での交流も例年よりもさらに遅く2月になってから具体化した状況ですので、12月のアンケート実施時点での保育者の評価は他に比べて低かったものと理解しています。

<教育内容・指導について>

- ・今年度は、臨時休園や分散登園の頃から特に教師がコロナ禍での指導を工夫する姿勢が際立っていました。子どもが遊びや生活に主体的に取り組むための環境構成や指導について工夫した結果、一人一人に物事に主体的に取り組む構えを育てることができてきていることは、大きく誇れることだと思っています。
- ・この点についてA評価が、遊びを大切にした教育についてが約90%、一人一人を大切にした指導が約92%、体を動かす体験は約92%と高くなっています。
- ・恵まれた園の自然環境を生かした保育や飼育栽培に関しては、今年度も保護者からのA評価が約97%と極めて高い評価を得ています。この点については、昨年度は教員の評価は低かったのですが、今年度は、教師自身がおもしろがって子どもたちと共に工夫して実践してきており、自然との関わりについては、教職員の評価はAが100%であり、自然と関わる実践に大きな手応えを感じています。来年度は区の研究奨励園として、さらなる研究と実践の充実を目指しています。
- ・園長自身が率先して動くことで、発信し続けている自然環境を生かした保育実践ですが、徐々に担任たちが身近な自然環境を生かす保育のおもしろさを感じ、主体的に関わるようになったことを大きな成果と捉えたいと思います。
- ・行事で充実した姿や育ちを感じてくれているかという点でも、Aが約94%と高い評価を得ています。これは、昨年度に引き続き、特に行事の内容や方法を再考する中で、身の丈に合った保育、子どものペースを大事にすることを心掛けて実践してきた成果であると言えます。その点をしっかりと評価してもらえていることは、何より有り難いことです。
- ・年度末に向けて、欠席者が減ってきており、誕生会の引き継ぎや生活発表会への取り組みなどを経験して、毎日継続して積み重ねている小さなことが実を結んでいる姿が多く見られています。その成長を保護者の皆さんも感じてくれていることが伺え、改めて、家庭と幼稚園との信頼関係が子どもの育ちの土台であることを感じています。
- ・秋までは、園庭開放もできず、特に新入園児の保護者同士のつながりがもてず、子育ての支援という意味で心配することが多くありました。しかし、学級代表やPTA役員の皆さんの協力も得て9月の懇談会や親睦会、さらに園庭開放ができるようになると、保護者同士の側面からの支え合いも生まれてきて、保護者の安心感が、子どもの安定にもつながっていきました。
- ・日々の生活に関しては、*遅刻や早退者が多いこと、*園だよりなどでお伝えしていることへの電話での個別の問い合わせが多いこと、*トイレの自立ができていないこと、*所持品の始末の自立が十分でないことなどは、昨年度に引き続き課題であると感じています。つい大人が口や手を出してしまうことが、子どもの自立を妨げていることを家庭と園が共通認識して、対応していく必要があると思っています。遅刻や早退、電話での問い合わせなどは、安全管理や職員の働き方改革にもつながる問題でもありますので、ご理解とご協力をお願いします。

<安心・安全について>

- ・昨年3月に2階への階段の手すりの補強工事を行いました。夏休みには園庭の土の入れ替え工事を行い、雨で泥沼化することがなくなりました。11月には樹木剪定もしてもらい、枯れた枝の落下も回避でき、いずれも安全・安心な生活に直結する対策を講じることができました。
 - ・日頃の園庭の環境整備に関しては、土留めの丸太の修理、植栽の手入れや花壇の整備、さらに園庭の落ち葉を使った土工場づくりなど、子どもたちも自分たちが生活する場を大人と共に整えることができ、それが遊びや生活を豊かなものにつなげており、経営方針が見事に実現している姿があちこちで見られています。そのため、Aが約93%と高い評価となっていることをうれしく思っています。
 - ・しかし、築山やかえでの木の周囲の土留めの丸太はかなり腐食が進んでおり、全面取り換え工事を依頼しています。園庭の南東側角のフェンスが道路側に傾いており、その改修工事と合わせて、この春休みに2週間程度の業者による大掛かりな工事を実施します。
 - ・その他、森のハウスの修理、バラ門横のスロープの取り換え、年長組保育室ドアのサッシ取り換え、年長組園庭靴箱の取り換えなども予定しています。
- ※終業式翌日から始業式前日まで複数の工事が予定されています。そのため、春休みの園庭開放は休止となりますので、ご理解ご協力をお願いします。

- ・用務主事は、2学期後半からメンバーが固定し、安心して様々な仕事を任せられるようになっています。環境整備や誘導なども含め、丁寧な仕事ぶりが評価され、Aが約90%と、昨年度よりさらに高い評価となっています。来年度も、堅実な作業を期待しています。
- ・大きな事故はなかったものの、小さなケガはなくなっておらず、引き続き気を緩めることなく、安全対策や園庭の使い方の工夫を行っていきます。アレルギー対応や感染症対策などについては、計画的に対応策を立て、定期的な訓練を実施していきます。
- ・園庭開放時のケガや危ない行動が目につきます。保護者の皆さんの一層のご配慮をお願いします。この点については、年度初めに改めて共通理解を図りたいと思います。
- ・新型コロナウイルス感染症への対策は、保育者の皆さんの協力により、手洗いの励行、マスクの着用、健康カードへの記録と提示、時差をつけての登園・降園が定着しており、大変感謝しています。
- ・教職員自身の健康管理、定期的な消毒や昼食時の飛沫拡散を予防するための細かい配慮、またマスクの着用や密を避けるための活動の仕方や行事の運営などについては、今までとは全く違う配慮が必要となり、かなり神経を使うものであることもご理解いただければ幸いです。

※幼稚園だけでは感染予防はできません。家庭と幼稚園とが連携して不断の努力を続けていきたいと思っております。引き続きよろしくをお願いします。

※自転車や自動車での通園については、区内の公立幼稚園は共通して原則禁止です。たまたま、青南幼稚園は駐輪場があり、短時間であれば止められる道路があるものの、園児の安全を守るためにも、近隣住民との良好な関係づくりのためにもマナーを守った行動をお願いします。

※今まで小学生の登校時に見守りに来てくれていた表参道交番のお巡りさんに、幼稚園からお願いして、登園時間帯にも引き続き見守りをいただいています。改めて私たち大人が、交通ルールやマナーを守り、子どもたちにモデルを示していきましょう。

<青南ならではの地域性を生かした保育について>

- ・園外に出て行くことは難しくなりましたが、身近な自然を保育に生かしていこうとする意識は教員の中で高まっており、園内の自然環境の活用は進んでいます。地域の様々な方に支えてもらっていることで安心して生活できていること、充実した教育活動ができていることも、コロナ禍だからこそ実感することができています。直接関わる機会は減ったとしても、青南の強みを生かした保育実践を引き続き工夫してまいります。